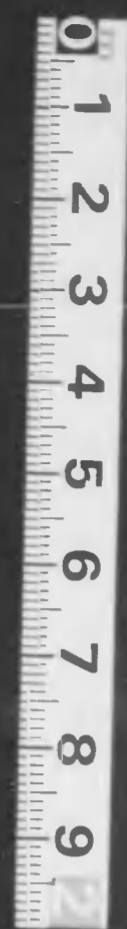
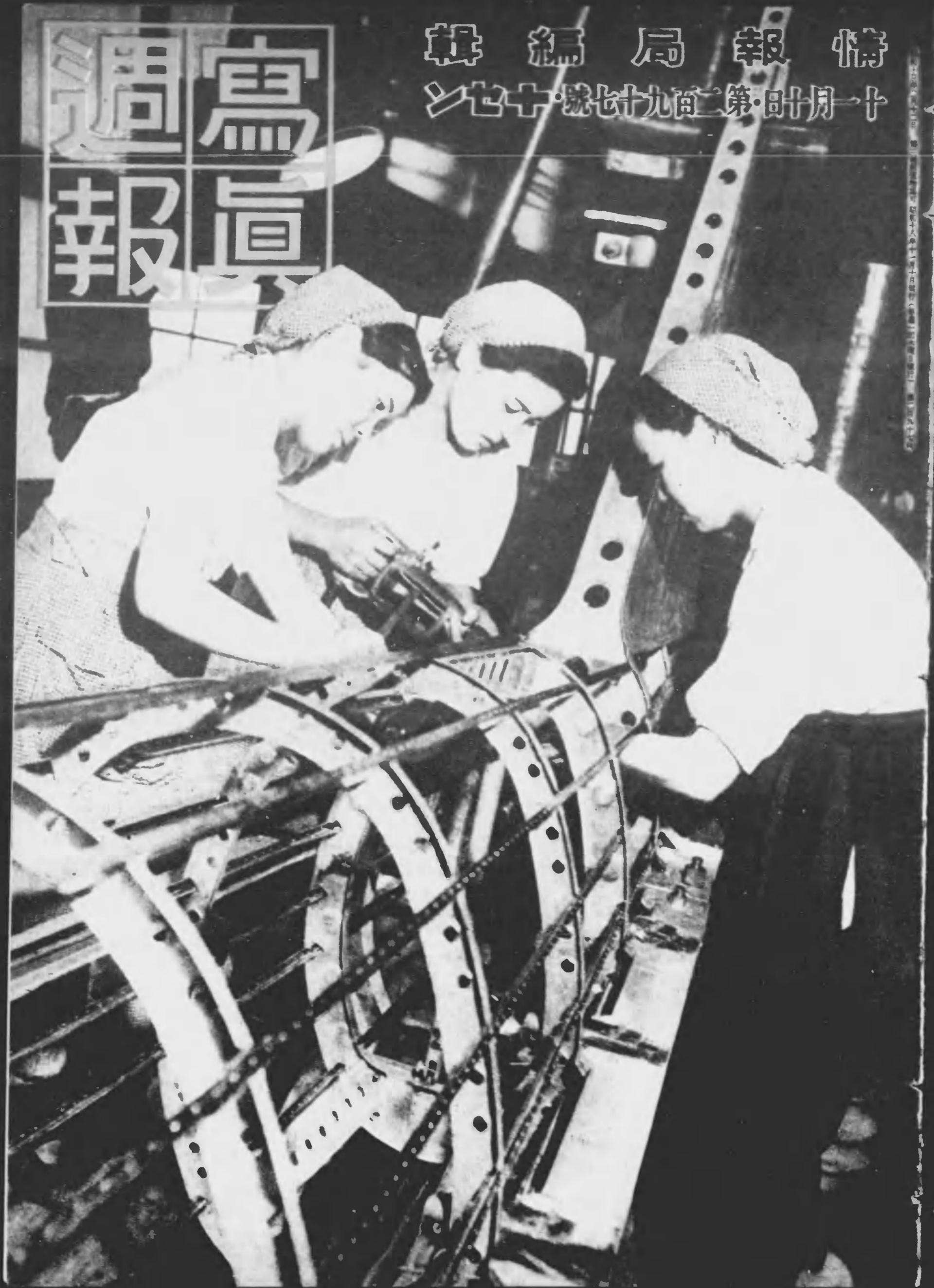
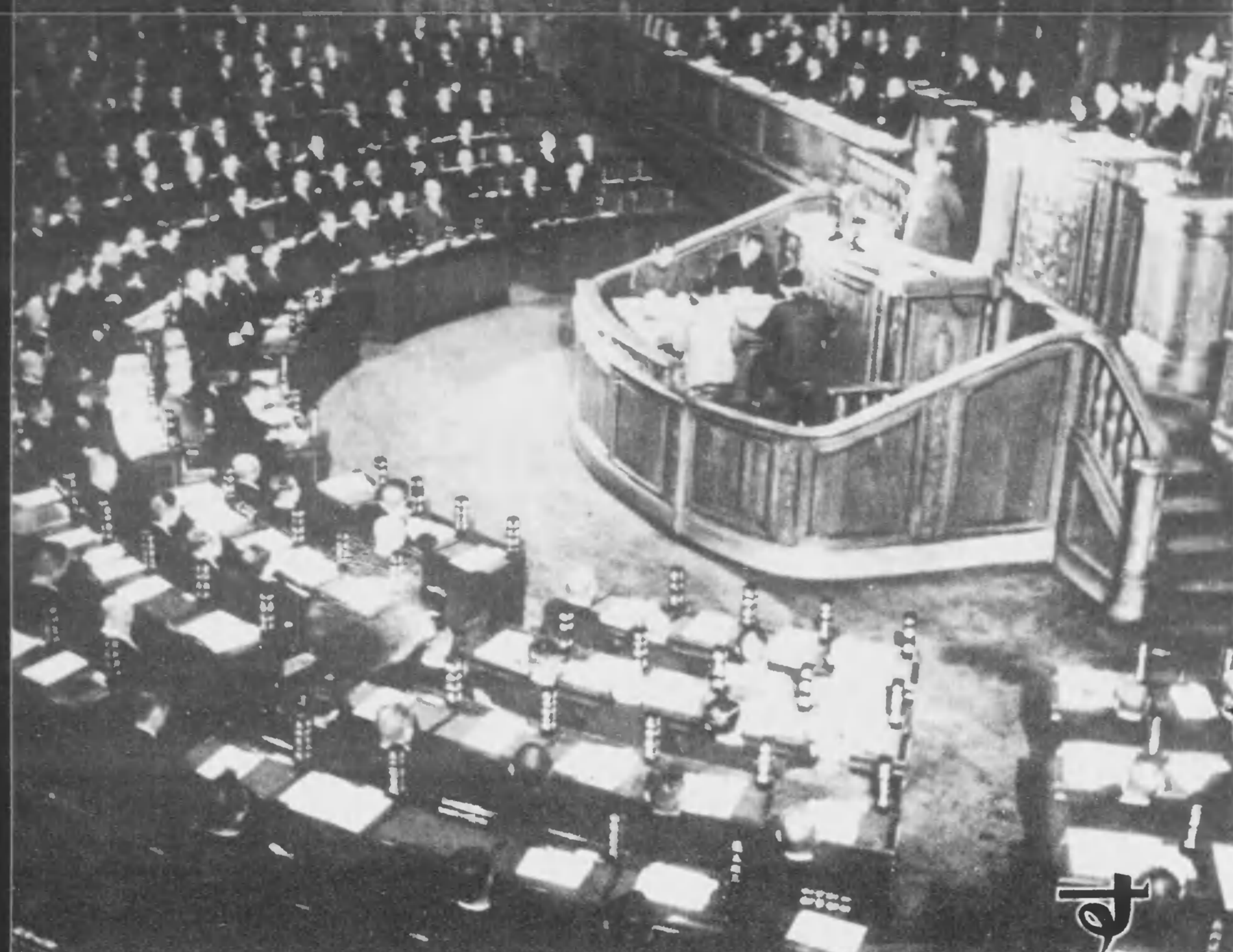


寫眞週報

編輯局報情  
十一月十日 第九百七十七號



今や大東亞のための大東亞成る  
 その總力が米英擊滅の戦列に動員され  
 十億民衆の怒りが豊富な資源を戦力化して  
 降魔の劍を振ふのだ  
 敵を恐怖から、悲鳴へ  
 そして絶望へ——  
 たゞわれらの決意と實踐あるのみ



すべてを

敵の非望破砕へ

第八十三臨時議會

進む大東亞建設の大事業

第八十三臨時議會は、さる十月二十六日から二十八日まで短期間ではあるが、非常な成果を収めて終了した。顧みると、大東亞戦争が始まつてから通常議會、臨時議會を含めて既に六回、その一回々々が大東亞戦争完遂、大東亞共榮圈必成のおほらかな里程標をなしてきた。

長くも 天皇陛下には本議會開院式に親臨あらせられ、優渥なる勅語を賜ひ

朕カ外征ノ師ハ萬難ヲ排シテ隨處ニ勇戰奮闘ス 其ノ威武ヲ發揚セリ而シテ大東亞ノ建設日ヲ遂ヒテ進ミ友邦トシテ結盟ハ益々固キヲ加フ朕深ク之ヲ欣ブ今ヤ時局洵ニ重大ナリ宜シク億兆一心更ニ總力ヲ發揮シ以テ敵國ノ非望ヲ破砕スヘシ

との有難き御言葉を拜した。誠に恐懼感激の極みである。想へば、宣戰の大詔を拜してから未だ二ヶ年を経てゐない。その間、御稜威の下、かくも偉大なる戦果を擡大し、かくも偉大なる建設を成就したことは、かつて歴史に見ないことであつて、一億國民、皇國の有難さが心魂に徹すると共に、必勝の決意さらに新たなるものを覚える。

試みに、地圖を開いてみよ。東條總理の言はれる如く、萬邦をして各、その所を得しめ、兆民をして悉くその境に安んぜしめるのが隆國の大理想は、今や地圖の上にもはつきり顯現せられ、多年米英の蹂躪に委せ、その擲取に苦しんできた東亞は、大東亞のための大東亞、さらに進んでは道義に基づき新らしき世界建設の先驅として力強く發足してゐるのである。

日滿兩國の物心に亘る一徳一心の協力よりは多言を要しない。また中華民國については本年初頭から、帝國の既定方針に従つて租界の還付を始め、幾多重要な案件の具體的措施が急速に進められ、十月三十日新らしく日華同盟條約の締結を見た。

タイ國との關係は日に緊密を加へ、北部マライの四州とチャン  
の二州を新たにタイ國の領土に編入する措置も既に完了した

### 大東亞のための大東亞つひに成る

更にさる八月一日には、大東亞戦争下、御成敗の下、大東亞に  
生誕した最初の國家としてビルマ國が獨立した。以來ビルマ千六  
百万の民族は、いよ／＼帝國と相携へ、大東亞防衛の第一線にお  
いて、よく敵前建設の進し、健闘を續けてゐる。續いて十月十四  
日には、比島が浮出なき獨立の日を迎へた。米國の東端と西端か  
ら解放された「比島人の比島」が、ラウレル大統領の下、今後大  
東亞共榮圏の一員として、その力強い發展は期して待つべきもの  
がある。大東亞建設の歴史に永久に記念されるべきこの二つの出来  
事、敵は夢に背かされるやうに迎へ送つただらう。

またマライ、スマトラ、ジャワ、セレベス等の原住民に對して  
は、それ／＼その民族に應じて政治參與の具體的な措置がとられ  
てゐるが、まことに心強いことは、ジャワ、スマトラなどにおい  
ては原住民の防衛勇軍志願者が相續き、敢然起つて大東亞の陣  
りに就かうとしてゐることである。

次に十月二十一日、インドの志士スパス・チャンドラ・ポー  
が、英領土の境に侵入する者から英領土大憲とモー・モン・ビルマ國大  
憲



力強いその一語々に内外、英、世界の輿論を驚かして、東洋の大東亞の建設

ス氏の下に祖國解放のため立ち上つたインド假政府に對して、帝  
國は直ちに同政府承認の意志を表明した。インドに對するわれ  
われの決意は東條総理の言はれた  
「インドにおいては志あるものは悉く半擧に投ぜられ、無事の民  
衆は絶て饑饉に泣く。これ正に世界の悲劇であり、人類共同の痛  
恨事であり、われ／＼の断じて放置し得ざる所である」に盡きて  
ゐる。

かく大東亞の情勢を通過すれば、多年米英の野望に鬱鬱の苦し  
みを重ねて來た大東亞の諸國家、諸民族を解放せんとする大事業  
が、實に堅實な歩みを以て着々とその基礎を築きつゝあるのは一  
目瞭然であり、帝國を盟主とする大東亞團結の實は、すでにわれ  
われの眼前に現實として展開され、今や十億民衆の雄力と決意と  
は、たゞ米英撃滅の一點に結集されてゐるのである。

### 大東亞建設の進展こそ敵最大の脅威

だが、敵も必死になつて大東亞の地圖を脱んでゐる  
敵アメリカのAP通信社の太平洋戰線特派員クラーク・リーと  
いふ男が、このほど「リीडグース・ゲイジユスト」といふ雑誌に  
「恐ろしいことながら日本の必勝形勢は着々固められてゐる。日本  
が世界最強の國家になるために必要なことは、その新帝國を開闢  
し、また官廳事務の刷新をはかると共に、豫算を徹底的に軍縮化  
する方針を實施した



東條総理は、この際になつても、まだ頭の切替へのできないや  
うな者は、日本人として取扱はないとまでいはれた。新らしい出  
發に當つて一億の心構へは、前線で生命を賭して戦つてゐる將兵  
の心持、何の私情もなくたゞ勝つことだけを考へてゐるあの氣持  
になり切ることだ

軍務並びに軍需生産に必要な國民動員の強化についても、今回  
兵役法を改正して兵役年限を滿四十五歳まで延長することにした  
こと、學生等に對する一般職業訓練の停止、職業採用の範圍の擴  
大、普通化等に對する措置を急遽に進め、一億の戰鬥配備を強化  
し、國內防衛態勢強化のためには、防空總本部の設置、防空法の  
改正等によつて重要都市の人員、施設を疎開する方針を決定する  
等、周知のやうに實に劃期的な前進は既に第一歩を踏み出したの  
である。

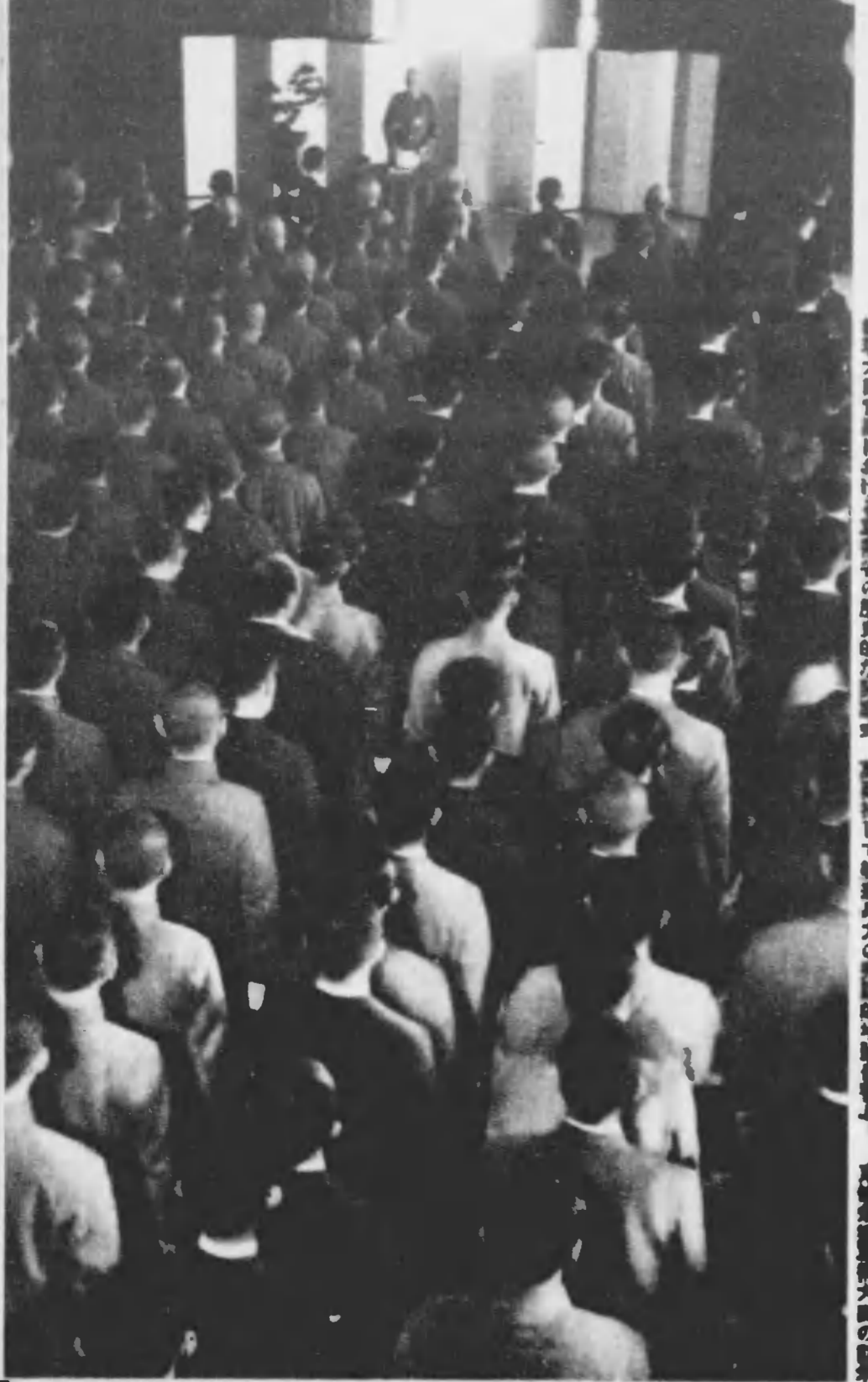
このやうな國內防衛の徹底強化が、最も迅速に、最も力強く實  
行されるかどうか、文字通り大東亞戦争の成否を決定する。し  
かもその責任はかゝつてわれ／＼の上にあるのである。  
この責任は、決して生易しいものではない。從來の考へ方々、  
行き方では到底成し遂げられるものではない。官も、兵も、ほん  
たうに一億國民が、實に一切の情性を鼓舞し、渾身の力を傾けし

て始めて果し得るものである  
東條総理は、この際になつても、まだ頭の切替へのできないや  
うな者は、日本人として取扱はないとまでいはれた。新らしい出  
發に當つて一億の心構へは、前線で生命を賭して戦つてゐる將兵  
の心持、何の私情もなくたゞ勝つことだけを考へてゐるあの氣持  
になり切ることだ  
文字通り決戦の議會、第八十三臨時議會を通じて、帝國の強手  
たる決意は中外に宣明せられ、「一億戰鬥配備に就け、急げ」の大  
號令は發せられた。衆議院の大東亞總發起に關する決議に示され  
てゐる「東亞十億打つて鐵火の一丸となり共同の仇敵米英を撃滅  
に猛進し東亞を永遠に解放して以て世界恒久の平和を確立せんと  
す」る道は、或ひは更に雄しさを加へるであらう。もとよりわれ  
われの覺悟するところ、たゞ撃ちて止まらぬのみである

### 敵の非難撃破へ、戦力増強の徹底進行

政府はこのため、從來の官廳の傳統、行き纏りに一切拘泥す  
ることなく、いやくも必要な施策は、思ひ切つて強力に斷行す  
ることになり、今回の臨時議會には生産責任制を確立すべき劃  
期的な軍需社會法をほはじめ、時局に關し緊急な法律案並びに議  
案等を提出、これが全幅な協賛を得て、着々速やかな實施を期し  
てゐる。行政運営の決戦化としては、十一月一日、軍需省、運輸  
省、農商省などの新しい店開きを始めとして、中央各廳に  
わたり行政機構の整備を行い、再びその職員の大規模減をほか

「日本七種の重要工業を官廳」(次いで「投資官廳」)と商工業  
の業務が外される。そのあとへ、戦時體制の手に木の骨を折らし  
い軍需省の業務が、軍需省の業務がまじり一綱である。



東條總理は、この際になつても、まだ頭の切替へのできないや  
うな者は、日本人として取扱はないとまでいはれた。新らしい出  
發に當つて一億の心構へは、前線で生命を賭して戦つてゐる將兵  
の心持、何の私情もなくたゞ勝つことだけを考へてゐるあの氣持  
になり切ることだ

敵の非難撃破へ

# インド人のインド獲得へ 自由インド仮政府誕生す

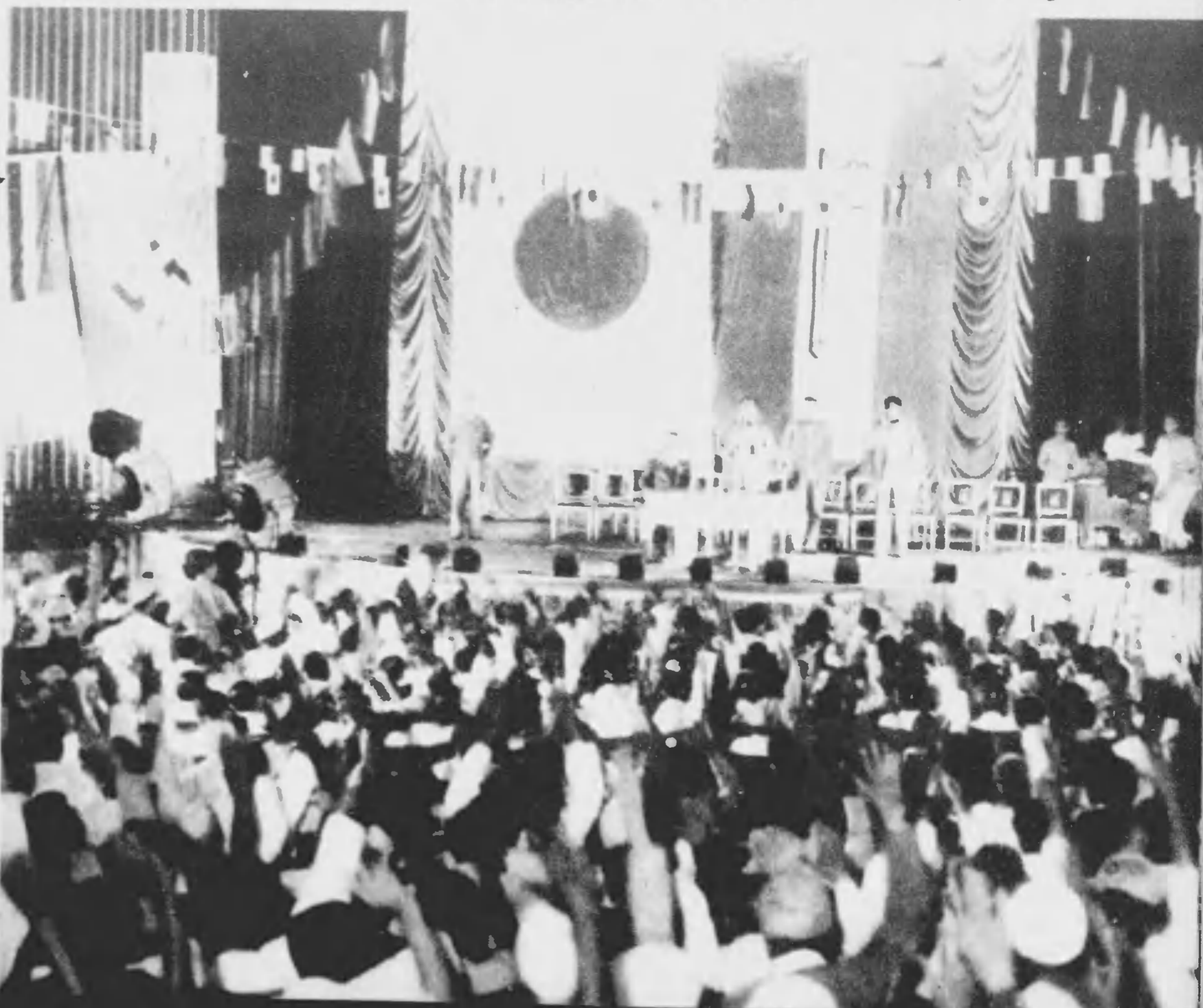
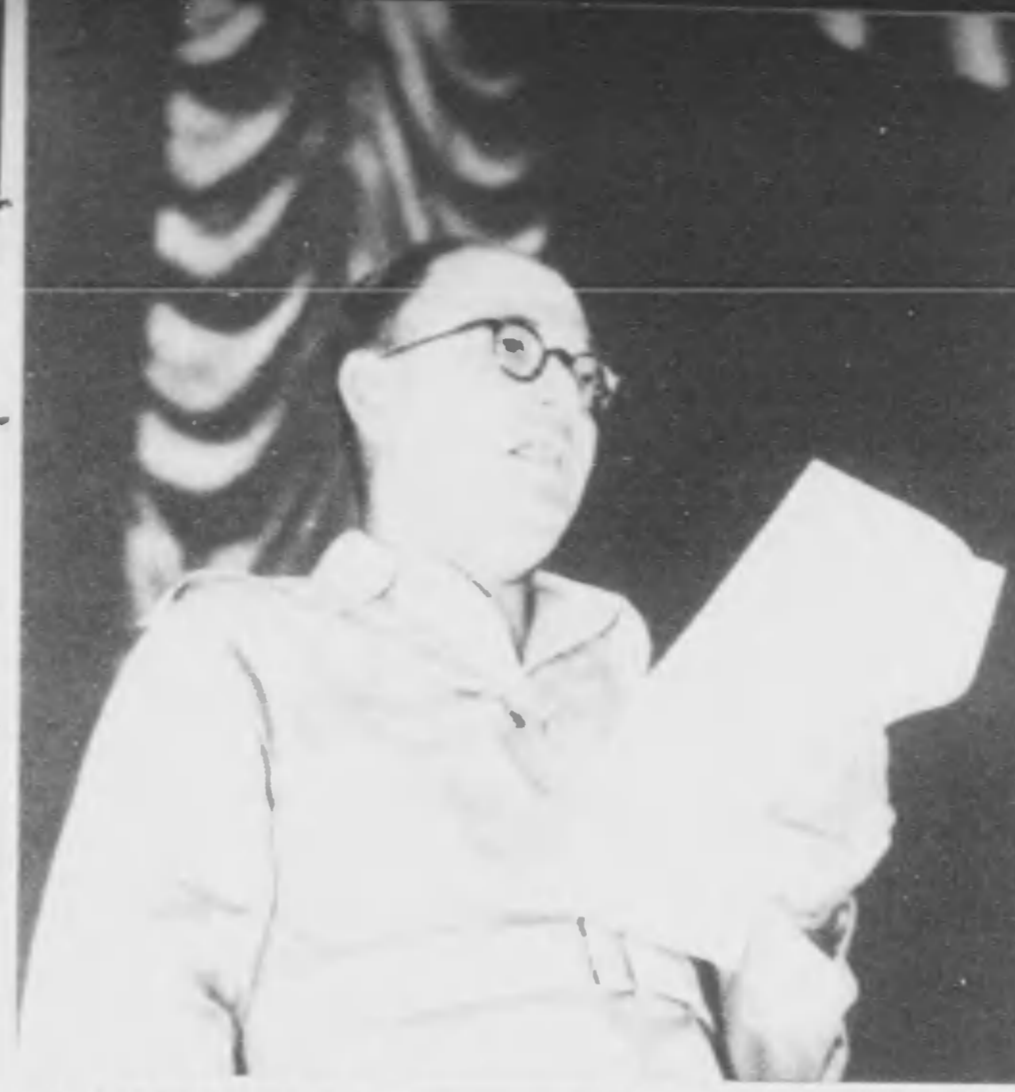
昭南



撮影 同盟通信社

自由インド仮政府樹立が提案されるや、二百万インド民衆の熱意を代表する全代表は、直ちに熱狂的な風潮を絶叫しつゝ、賛意を表明したのだ。

自由インド假政府の樹立を宣言するスハスチ・チンドラ・ボース氏の一言一句は烈々の氣魄をこめて全インド人に呼びかけられた。「英國人とその同盟者に對し一大闘争を開始せよ、インドの地から敵が完全に追放され、インド人が再び自由なるインド國民として立つ日まで勇猛と忍耐と必勝の信念をもつてこの闘争を闘ひ抜け」と。



新閣僚の任命式

参議の婦人幹部連



インド獨立史上に、否、世界の歴史に劃期的な重大意義をもつ自由インド假政府は、十月二十一日、昭南市に開かれたインド獨立聯盟東亞代表者會議の席上、東亞在住二百万インド民衆の總意によつて樹立された。

三十七日、インドの志士スハスチ・チンドラ・ボース氏が昭南に乘込み、獨立聯盟總裁に就任、インド國民軍を編成して、自らその指揮官となつてが南三ヶ月餘、その間、タイ、ビルマ等に東進西進して準備を進めてきたが、その時々に於て、こゝに光榮の日を迎へたのである。新政府はボース氏を下席に、直ちに反英抗爭の新たな火蓋を切り、堂々米英に宣戦を布告、祖國進撃の決意を全世界に表明し、インド獨立運動は今や名實共に獨立戦争への逞しい展開をみることになった。

歴史を辿れば、今から約百年前西曆一八五八年十一月一日、アラハバトにおいてヴィクトリア女王がインド統治宣言を發し、インドの土地と人民が完全にイギリスの支配と軍政に委ねられて以來、このたゞインド假政府がインド人自體の唯一最初の獨立政府たる榮譽を擔ふ。かゝる政府の誕生がインド三億八千万の民衆に與へる感動、さらにイギリスに與へる恐怖は思ひ半ばに過ぎるものがある。

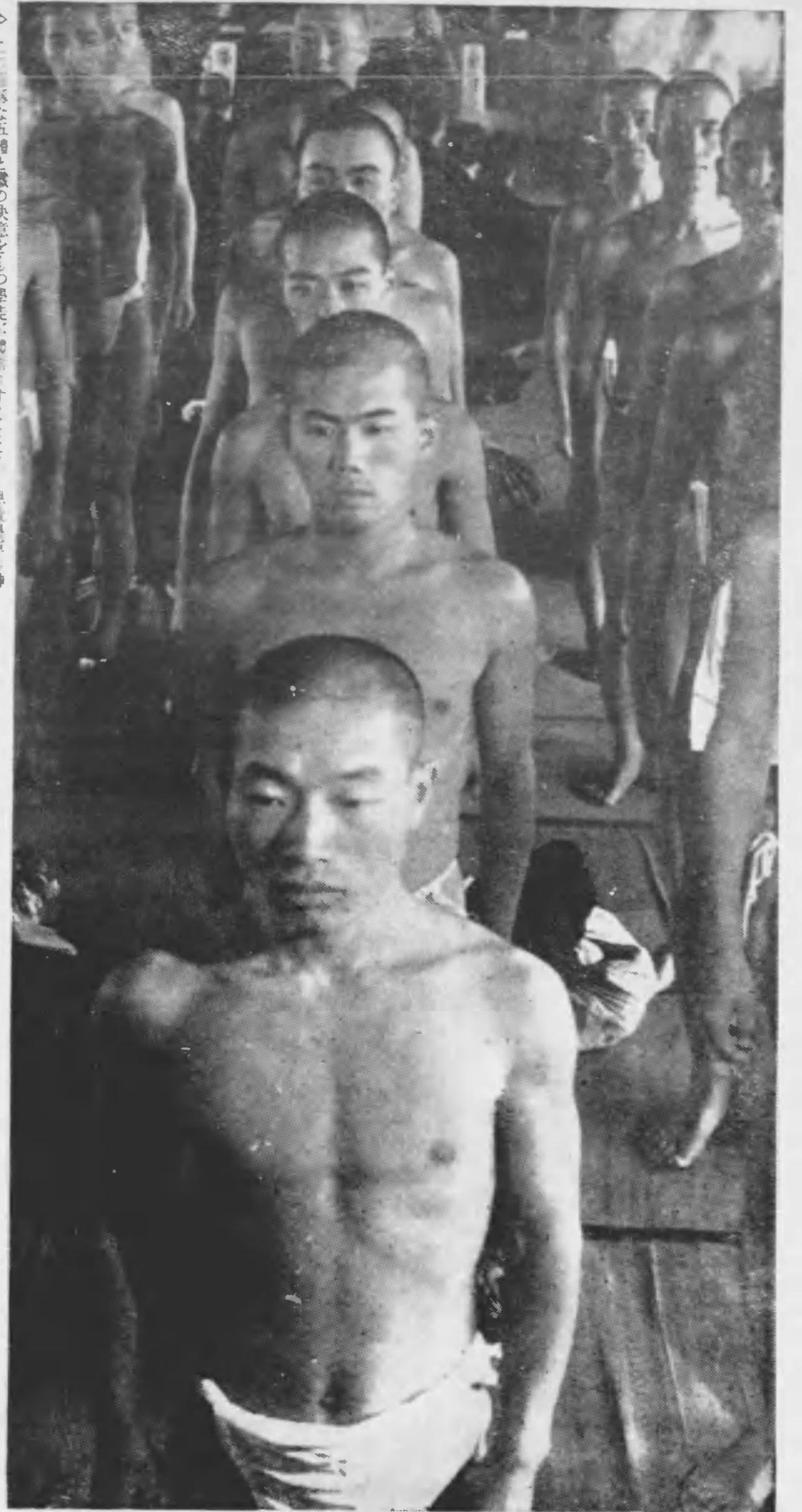
現在インドでは米英軍の暴行が、空前の食糧飢饉を生み、カルカッタにおける餓死者は一日百五十名に上るといはれてゐる。かゝる目を凝は

しめる惨状が世界に放置されてゐてよいだらうか。斷然、否である。

眠れる象インドは遂に目覺め、怒れる象となつて、ボース氏のいふ「インドへ進撃する國民軍の基地」ビルマより、デリーへ、デリーへ、の軍事を起さずしては來たのである。

新たに任命された閣僚の首々、ラクシュミ・スワミナタは人部長の顔も見える





# 学徒われも 今日よりは醜の御楯ぞ

皇徒の臨時徴兵検査 東京

「いよいよ古武士の元服なのだ……」と刀を構へ、威風凛々とした軍官の調子に「おうと喜べん氣魄も皇徒にこもつてマア」



「甲種合格」を賞する徴兵官も、調子のいい顔に頼もしく見える



「甲種合格」を賞する徴兵官も、調子のいい顔に頼もしく見える。皇徒が待ちに待った決戦への突撃路はひらかれ、十月二十五日から十一月五日まで、臨時徴兵検査が全国一斉に行はれた。入営まで僅か一ヶ月の名残りの学生服をぬき、青々としたイガ栗頭の皇徒は、白い越中袴一つで検査場に立つ。自分の姓名と番號を名乗つてから、身長、體重、胸圍、視力、關節運動等の各検査を受けた後、今回からは海軍にも採用され、豫備生徒となり、さらに海の幹部候補生となれるので、それ／＼陸海軍への希望を申したた後

「小池秀治、大正十一年五月二十九日生、法政大學在學中、甲種合格」と聲帯も震けんばかりに叫ぶ聲は、醜の御楯と出でたつことを得を欣びにふとてゐるのだ。陸に、海に、空に、血戰の戦列へ馳せ参ずる皇徒の胸中は、一戦も早く仇敵米英の皇徒はらを平倒滅滅せん決意に燃えてゐる。今日よりは我が身ではない。大君に捧げまつた身、輝く輝くの下に砕ける身をいとしまながら、十二月一日の入営、應召まで、なほ鍛へに鍛へよと誓ふのであつた。

前日行はれたレントゲン検査は不必要なもので、精選の精鋭だ。陸海軍の閣僚文部大臣は、大君の御意に、皇徒の深々しさに、さぞは、ええ、と、報告をさける





「仕事も主婦の人の手で進んでいく。」「お母さん、お父さん、お兄さん、お姉さん、お弟さん、お妹さん、お孫さん、お守りをしてあげよう。」と、お母さん、お父さん、お兄さん、お姉さん、お弟さん、お妹さん、お孫さん、お守りをしてあげよう。と、お母さん、お父さん、お兄さん、お姉さん、お弟さん、お妹さん、お孫さん、お守りをしてあげよう。



「夕飯後、おぼろやんもお守りをしてあげよう。」と、お母さん、お父さん、お兄さん、お姉さん、お弟さん、お妹さん、お孫さん、お守りをしてあげよう。

「一歩あけて勝ちぬくための練軍をこころとく、僅かな時間、少しの努力も無駄に費やされるべきでなく、すべてをあげて戦力を増強するために使われなければならないのです。かうした考へから、近頃、都府の主婦たちの間には家庭工場化運動といふ聲が高くなつてまゐりました。これはあまり設備もいらす、手先などで簡単にできる工場内の仕事を、婦人会が隣組を通じて家庭にまはして貰ひ、老人とか子供などの努力まで動員して作業をすることです。

今までは内職といへば、生活費を補ふためばかりのやりに考へられてきた。だが、現在ではかうした消極的な意味は失ひ、もつと高い國家的な、そして有意義な意味を持つてきてをります。即ち、一は、これによつて得た工場の努力を他のもつと重要な仕事に用ひて貰ひ、二は、これによつて得た工場の努力を他のもつと重要な仕事に用ひて貰ひ、三は、これによつて得た工場の努力を他のもつと重要な仕事に用ひて貰ひ、以上三つの強力な意味を持つてをります。利用し得られる努力は極度に利用しなければならぬ重大なときなのです。

さて、こゝろ、芝田村町三丁目西町會では寺尾イトさんを中心に、三十人の日職會員が、この主意に副つて毎日せつせと作業をつづけてをります。仕事の種類によつては共同作業もしますが、大抵は自宅に持つてかへつて、家庭内で作業が行はれてをります。作業は午後とか夕飯後に、家族全部が一つの座敷にまゐり集つて、和やかな空気に中行はれます。工賃はでき得る限り貯蓄や公債を買ふのにまはされ、この仕事をやるやうになつてから會員たちの貯蓄はぐんと上り、公債もいつも割當額を遙かに越すと云ふ嬉しい成績で、みな大喜びです。

忙しい家庭生活も何とか工夫して合理化し、時間をうみ出して、主婦も、子供も老人もそれぞれで戦力配置につきませう。

一希望の方は、東京都ならは各區役所の親切課、保健婦、地方ならは市町村役場等に申込まれればよいのです。



「仕事も主婦の人の手で進んでいく。」「お母さん、お父さん、お兄さん、お姉さん、お弟さん、お妹さん、お孫さん、お守りをしてあげよう。」と、お母さん、お父さん、お兄さん、お姉さん、お弟さん、お妹さん、お孫さん、お守りをしてあげよう。



東京

家庭工場



→ 常に遠慮等をして空襲への心構へをこころにこめさせよう

# 敵機が我が国を襲う

## 幼と空防 理心の兒

雄 俊 田 竹



幼児が自分で空襲に備えるため、このように身を固くしなさい

空襲を主とし、幼児の防備が第一に取上げられています。幼児を空襲から護り、実際に當つて安全に避難させるには、幼児の心理をよく理解して進めなければなりません。

空襲を主とし、幼児の防備が第一に取上げられています。幼児を空襲から護り、実際に當つて安全に避難させるには、幼児の心理をよく理解して進めなければなりません。

す。お化けといつても、二歳や三歳の子は少しも恐れませんが、このやうな年齢では、お化けの話がわかるほど発達してゐないからです。ところが四、五歳になると、いろいろな話を聴きたがるやうになると、お化けを恐れるはじめるのです。周囲の人々からお化けは恐いものといふ知識を得たため、後にいふやうに、幼児に防空の指導をすることは極めて大切ですが、その際、空襲は恐いものではないといふやうなお話を聴かせると、かへつて逆効果を生じて、いつも空襲を怖がるやうな子供になつてしまふから、この点はよく注意しなければなりません。

### 周囲からの暗示

周囲の人の話がお化けの心に働きかける以上に大きな影響力をもつものは、大人の行動そのものです。防空警報のサイレンが鳴つて母親があわてふため、恐れ戦いてしまふならば、幼児は極めて敏感にこれに敏感です。幼児の心といふものは驚愕で、いはば、はつきりした論議をもつてゐないで、周囲の者のすることに同調する同化しやすいものです。お化けといふやうな想像が入る餘地もない位、親が笑ひ顔すれば笑ひ、不安な態度をすれば不安に陥るのです。幼い子供が大勢一緒にゐる所で、一人が泣きをあげて泣き始めれば、他の子供たちも泣き出すことはしばしば見受けられるところであります。まして、自分を

### 幼児の運動機能に應じた準備を

幼児の防空は避難が主眼です。避難してゐる母親が恐怖に押しつぶされて、幼児は立ちどころにその陣の中に捲き込まれてしまふまゝです。従つてこれと反対に、警戒音が鳴らうが、空襲警報が鳴らうが、親が平然とその場合々々に應じて必要な位置を秩序正しく行ふならば、傍にゐる幼児は落ち着いた自分の準備をととのへます。親の顔色、親の言葉、親の態度が子供の心構へを作り上げるのです。幼児の暗示を受け易い性質、模倣する心理を利用して、恐怖に提はれず、平靜であられるやうに指導するのがよろしい。

### 聯想によつても

幼児の恐怖はまた、心理學や生理學でいふ條件づけによつても生じます。警戒音のサイレンの音を聞いて恐怖を感じるならば、この恐怖は條件づけによつて生じたものです。元來、このサイレンの音自体には恐怖を起させる何物も含まれてゐません。以前、正午の時報としてこのサイレンの音を聞いた時、それは楽しいものでさへあつたのです。今それに恐ろしさを感じるとしたら、この音に続く空襲が恐ろしいためにサイレンの音まで恐ろしくなつたのです。このやうに、何でもないと結んでしまふ恐怖させるものと結びつけられると、恐ろしさを感じるやうになると、条件づけによる恐怖といひます。幼児の恐怖にはこの条件づけによつて起るものも少なくないから、注意しなければなりません。

### 恐怖や不安を除くには

一 素直に恐怖する癖のついてしまつたものを直すには、直接強く衝動を受けさせる場合などは、困難ですが、幼児の心のなかをこまに注目して、幼児の防空訓練の際などに、空襲を何とも思つてゐない子供達の間に入れて、次第に馴れさせるのも一法です。幼児の心は周囲のものに同化され易いので、他の幼児達や動物が活動してゐるれば、それと行動を共にするやうになり、恐怖も次第に消失してしまふものです。また、防空訓練の時などに、その子の喜ぶことごとをやつて、前に述べた条件づけを適用し、恐ろしいものと楽しいものとを一つに結合させるのも恐怖を救ふ途でありませぬ。

この条件づけの逆用は、このやうな風に出来てしまつた恐怖心を

幼童用の待避所を作る場合、爆風を避けるといふ待避所本身の性質に差支へない限り、入口を幼児の入りに易いやうにするのがよく、段の高さを減減すると、段でなく坂になるか、或いは平らな所から横穴へ入るとか、いろいろ工夫が大切です。

幼児の全身的な運動機能はあまりでなく、手足などの程度に発達してゐるが、いふことも、防空用服装を工夫する場合には、この程度に留意すべきことです。幼児の防空用服装は、身を保護し、避難に便利なものであることが第一です。これが着るには長い月日がかりです。

突然大きな物音がすると、乳児がわつと泣くやうなのが最も根本的な形です。このやうな恐怖の情緒は生後六ヶ月位から現はれて来ますが、急激に外からの刺激を受けて、子供の心がそれに應じる態度をとれない時に、恐怖といふものが生じます。或る子供は犬の吠えを聴くと尻込みするやうに、別の子供は同じ犬を見たと尻込みすることとは異なるやうに、同一の物に對しても恐怖を生じたり、生じなかつたりすること、恐怖といふものが一定の刺激だけで起るのでなく、その刺激を受ける心構へに左右されること、これが分ります。

この心構へといふものは、子供がいろいろの知識を得、経験することによつて育てられます。落雷といふやうな不幸な経験から雷を恐るるの、前に述べた通りで

### 恐怖心はどうして起るのでせうか

空襲にあつて心配なのは、幼児が激しい恐怖心に襲はれるはじまることがよくあります。雷の竹裂く音や、火柱や閃光、建物の破壊、死者や負傷者の群、そして自分の生命の危機、かうしたものに對しても大人は理性をもち、意志をもつことが出来ますが、幼児は心細く化してゐないために、情緒的な反応が強く、恐怖に陥り易いのです。そして幼児が一度恐怖に提はれると、それから抜け出させるのがなかなか困難です。たまたま近所に落雷があつてから、夕立が来さうになるたびに怯えて泣き騒ぐ子どもを時折見かけますが、これが提はれるには長い月日がかかるのです。

それでは、幼児を恐怖に提はれさせないやうにするにはどうすればよいか。これには、恐怖の心理をまつ考へてみませう。恐怖が起るにも、いろいろの場合があります。

急激な刺激や



待避所内でも考えられることは、幼児達がいつと入つてゐないだらうといふこと、保護者は幼児達の注意力を集中させることも工夫しておくことが必要です。

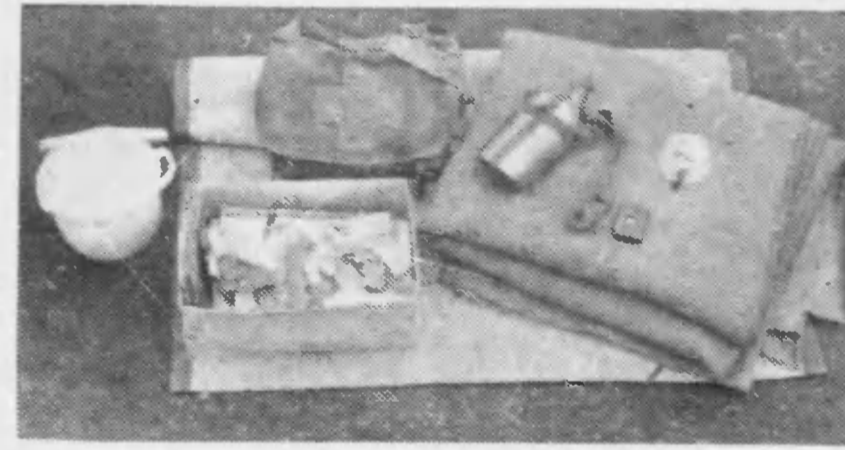


この間は何か起らうともあまり気にしません。外部の音は恐怖を起させないために、こんな準備も心掛けさせよう。

待避所内での  
心理的な問題

真正に役立つばかりでなく、空襲の際に強い恐怖を感じさせないやうにするために大いに有効です。たとへば、暗い防空待避所の中に大好きな人形や繪本を入れて置くとか、待避所内で面白いお話をしてやるとか、かういふ心遣ひは幼児を不安にさせないために望ましいことです。かうやって、空襲に對し恐れを抱くことなく無事に待避所から出ることが出来るなら、大抵の空襲に對しても心の動揺を示すことなくすむでせう。

恐怖は外からの刺激に對し、それに應じる心の構へがとれないで均衡が破れるときに起り、その場から逃れ出ようと、こゝろなほ逃れることの出来ない、いはゞ眞暗な心の状態ですが、同じ刺激に遭つてもそれを受けける心構へが出來ておれば、かうした恐怖感を抱かないのです。すなはち、たゞ強烈に自分を奮しつゝさうな、どうなるかわからないといふ感じを、これ／＼のだと解決の筋道がわかるならば、恐怖の念は消散します。この解決の道を示さうとするのが訓練なのであつて、訓練によつて幼児はその刺激に適應する途を得得し、はつきりとした心構へが出來上つて、恐怖を感じないやうになるのです。丁度、われ／＼がはじめて或る家を訪問するやうな、全く知らない道を歩く時には不安を感じるが、同じ道を始終歩くやうになれば、しらす／＼のうちに歩き着いてしまふやうなものです。



▶ 幼児の待避所へ持参する物としてコサ、手布、筒、紙水を入れた水筒とか、便器の用をなすものなどを用意するといふのはこのためです。



▶ 警察官が發令されたら、すぐ防空服をとり、へんちをかきかき、同時に、實際に行動によつてお手本をせし、それを實際に幼児に行はせるやうにする。訓練の効果は上るものです。

お手本を見せ  
て具體的に

幼児の物の考へ方といふものは非常に具體的で、お手本といへば、幼児はいつも自分の手を思ひ浮かべます。幼い子では自分の手を離れて手といふものは考へられないのです。抽象的に手とは何かといふ問ひに對して、一應の答へが出來るのは、つまり大きくなつてからで、それ以前は物をつたりするものなどとはいはないで、たとへばお箸を持つとか、鉛筆を持つとかいふ答へ方をします。それでは幼

い子には手といふ概念が全く存在しないかといふと、必ずしもさうとばかりはいへません。年齢が幾分大きくなれば、「お人形のお手々はどれ。」と訊けば、正しくその手を指さすことは出來ます。これは一種の概念ではあるが、大人の持つ概念とは全く異つた、いはゞ行動的な概念で、幼児が物を考へる場合には宙で考へず、いつも實際について考へるのです。従つて、幼児を導く場合には、抽象的に言葉だけで理解させようとしてその効果は非常に薄く、實際にその行動を具體的に指導しなくてはなりません。

この五、六歳になると義務の意識がはつきり生じ、大人のいふことをやり遂げようとする気が出て來ます。幼児を指導する者はこの心理をよく辨へて子供を動かす行動の特の中に入れてやるやうに習慣づけてゆかなければなりません。なほ、幼児は四、五歳までは、幾つものいひつけを同時にいはれたのでは、それを理解し、實行するだけの能力がまだ發達してゐないから、幼い子にはいひつけは一つづつ與へなくては効果がありません。

子供同士の間は、遅くも三、四歳になると、遊び相手をも本當に欲しがらるやうになるが、それまでは眞の意味での幼児の集團といふものは成り立ちません。何人もが一緒の所で遊んでゐても、心理的には一人々ばら／＼なのです。それがこの頃になると、社會性がはつきりと現はれて來、集團的な行動がとれるやうになります。その人数は三、四人が普通です。多くの幼児を誘導防護するやうな場合には心得て置くべきことです。

ら上衣を着るには、といふやうに具體的に指導して、習慣の型つけをするのであつて、この型つけが完成したならば、第二にそれを規則正しく反復練習させます。かうすることによつて服裝をと、のへることも、待避所へ避難することも、自動的、機械的に習慣づけられ、恐怖などの入り込む餘地はなくなつてしまひます。極く幼い子なども、たゞ本當の空襲の際だけ待避所へ入ればよいと考へたら間違ひで、いざといふ場合に困らないためには、平素から暗い待避所へ入る訓練をし、これに慣れさせ

て置かなければなりません。これが決戦下の幼児の戦でありませう。幼児の生活は遊びが主體であつて、玩具を持つて遊んでゐる時は勿論、さうでない時も目の醒めてゐる間は殆んどいつも遊びの氣持で活動を續けてゐます。防空訓練もこの幼児の心理に沿つてなされれば、眞清に行はれ、しかも効果が大きいです。紙芝居といふやうな子供の興味をひくもので、防空の心構へを教へようとするのはその一つです。幼稚園などで待避所への避難を簡單な律動遊戯に仕組んで

指導するのも、行動を秩序立て、興味深くするよい工夫です。平素から社會的な練習を、幼児を養ふ際には注意すべきことは、その社會性の問題です。幼児は二歳を過ぎる頃から、大人が何かいふと、「應は『いや』』といつたり、その暴動をしますが、これは子供が心理的な離乳期に入り、自我が芽生えて來た印ですから、むしろ上手におだてて必要な行動をとるやうにさせるのがよいのです。頭から抑へつければ、意志薄弱な子供になつてしまひま

す。これが五、六歳になると義務の意識がはつきり生じ、大人のいふことをやり遂げようとする気が出て來ます。幼児を指導する者はこの心理をよく辨へて子供を動かす行動の特の中に入れてやるやうに習慣づけてゆかなければなりません。なほ、幼児は四、五歳までは、幾つものいひつけを同時にいはれたのでは、それを理解し、實行するだけの能力がまだ發達してゐないから、幼い子にはいひつけは一つづつ與へなくては効果がありません。

子供同士の間は、遅くも三、四歳になると、遊び相手をも本當に欲しがらるやうになるが、それまでは眞の意味での幼児の集團といふものは成り立ちません。何人もが一緒の所で遊んでゐても、心理的には一人々ばら／＼なのです。それがこの頃になると、社會性がはつきりと現はれて來、集團的な行動がとれるやうになります。その人数は三、四人が普通です。多くの幼児を誘導防護するやうな場合には心得て置くべきことです。



原則として幼児は家庭の待避所へ、もしより安全な待避所があれば、そこへ避難させることになつてゐます。幼児の運動機能なども考へて入りやすく工夫したり、避難することも自動的、機械的に習慣づけておくことが大切です。





# おせきの貯蔵法

内原訓練所 木村 幸雄

米だけが食糧ではない。勝利への大切な食糧を運ぶ輸送船に、外米を積まないために、食糧は自給でゆくのだ。糖業でも、小量でも、どんな雑穀でもい、腹のたしになるものはすべて決戦食糧としなければならぬ。この中でも、甘藷は大事な食糧で、今春の植付けが見事に實を結んで、全国の収穫は約十七億万貫を見込まれてゐるほどだ。

しかし、何といつても甘藷は腐り易い。この腐り易い甘藷をできるだけ保存して長つゞきのする決戦食糧たらしめる貯蔵法をこゝに紹介しよう。

場所がわづかな空室さへあればよい。甘藷を収穫する時、まづ第一に氣を付けなければならぬのは、霜や冷気に決してあてないことだ。霜や冷気にあてると外見では分らなくても、貯蔵してから腐ることがある。大體の氣候からいつて東京以南は十月下旬から十一月月上旬ごろに取入れるがよいが、貯蔵するには成るべく早く掘る方が安全である。

さて取入れは、植付けの時と違つたやうに、本年六月十六日第二十七十六日、高さ三尺につくつた高畝の横下から、鋤で掘つてゆき、掘り出した土は、高畝と高畝の間の溝へ平らにうづめてゆく。それから畝の中央部の甘藷のあるところを掘り出す。最初に植付けを正しくしてあれば、甘藷は必ず高畝の中央部に實る筈であつて、甘藷がどこにあるか分らなくて、鋤で甘藷を傷つたりするの



は、高畝にしておかなかつたり、植付け方が正しくなかつたからである。

掘り出したら、そのまゝ土を拂つて貯蔵穴へ入れるが、その際、直接強い日光にあててはならぬ。中には、わざと日に干す人があつたが、傷み易いから避けねばならぬ。そのほか、なるべく動かさないやうにすること、蓋の先から腐つていつて甘藷が駄目になるから、蓋は必ず折り取ること。この時、乳白色の液が出るけれども、これは甘藷の外皮より腐敗を防ぐ力が強く、そのほか病菌をも防ぐ貯蔵穴は、甘藷の量によつて適當に掘るが、掘つても水が湧かない土地なら、なるべく深い方が貯蔵に適してゐる。

一般に甘藷を貯蔵穴に入れた初めの日は、甘藷から露氏二十五度位の熱を發する。それが一日一度位の割合で下がつて、二週間位経つと、貯蔵温度として適當な露氏十四、五度となる。大體、貯蔵

には露氏十二、十七度が適當で、寒暖計を使つてこの温度を保つやうにする。

二週間後は、温度を保たせるため甘藷を殺殺で被ふが、この殺殺は、乾燥しきつたものより少し温氣のある方がよい。さらに温度が降つた時は草葉または藁をかぶせる。十二月から一月には一尺まで位の殺殺の量を増し、土をかけ、藁、草など殺殺がない時はおが屑、砂、土、落葉、草などを被ふが、甘藷が呼吸作用の出来るやうに軽くか



第三圖 約三百貫



ける。貯蔵中、鼠や土鼠の餌食となつたり、雨水が侵入して腐つたり、または病菌のある甘藷が混つてゐたために、全部を腐らせたりしないやうに氣をつけることはいふまでもない。要するに、貯蔵穴の熱も大切であるが、貯蔵する人の熱が一番大切なのである。

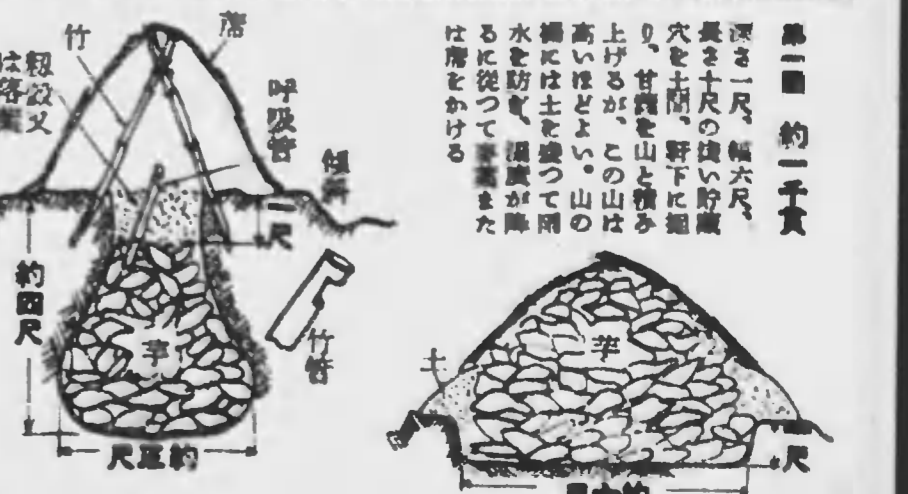
第一圖 約一千貫

深さ三尺、幅四尺で貯蔵穴の長さは二間に掘る。まづ穴の横側の上半部を藁で被ひ、大地に接するところへ

は藁枕をうづめる。貯蔵穴の下半部には地熱が傳はつて来るから藁を埋める必要がない。貯蔵穴の上は藁または藁で被ひ、南向きに強風で吹きやうにし、その兩側には竹藪をつけて雨水が入らぬやうにする。

甘藷の熱が散放してから、一定温度を降る時には、藁、落葉、オガクズ等を甘藷の上へ三四回にわけてかぶせ、十二月から一月ごろには藁の層へ土をかぶせるとなして寒さを防ぐが、第二圖のやうな空室管は必要でない。

この方法で甘藷一千貫が貯蔵できるが、各家庭では貯蔵したい甘藷の量に從つて貯蔵穴の長さをいゝめる。





敵撃の戦力を増強

三千元六百元

年金が一か生貰へる

郵便年金



郵便局で説明書呈送

寫眞週報 昭和十八年十一月十日 郵政省印刷局 昭和十八年十一月十日發行 郵便局 郵政省印刷局 郵政省印刷局

印刷局印刷發行

**本誌を回覧に**  
本誌を、講義や職場  
へ回覧するなど、出  
来るだけ有効に郵利  
用下さい。  
**前線慰問にも**  
またお読みになつた  
ら本誌を前線慰問に  
送りませう。送料は  
内地と同様に封封あ  
るひは開封にして第  
三種と明記すれば、  
一部一錢です。

本誌掲載の寫眞中、  
影者名或ひは提供者  
を特記してあるもの  
は財団法人寫眞協  
会の製作によるもの  
又、海軍関係の寫眞  
は海軍省承認第五  
四三號です。

所 込 申	價 定
全國各地官報 販賣店・賣店 新聞・販賣店 寫眞材料店	<p>一部十錢 (送料一錢)</p> <p>▲外地郵送は依 共一都十九錢 其の都道府県は 特大號の場合 金より差額を申 受けます</p>

寫眞週報  
(無断轉載)